

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場取引所 札

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社  
 コード番号 3849 URL <http://www.ntl.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松村 泳成  
 (氏名) 鈴木 孝男

TEL 03-5276-2810

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	183	△26.9	△64	—	△64	—	△35	—
25年3月期第2四半期	251	△63.5	△32	—	△31	—	△21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△4,450.11	—
25年3月期第2四半期	△2,676.77	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	977	827	84.7	103,794.43
25年3月期	1,157	877	75.3	109,230.00

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 827百万円 25年3月期 871百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	812	20.1	89	161.8	90	157.1	55	160.5	6,894.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	8,480 株	25年3月期	8,480 株
26年3月期2Q	503 株	25年3月期	503 株
26年3月期2Q	7,977 株	25年3月期2Q	8,152 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 研究開発の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、政府による大震災からの復興の加速、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組むことにより、緩やかではありますが、景気回復、生産増加、企業収益の改善、設備投資の持ち直しの動きがみられ始めております。しかしながら、当社を取り巻く事業環境につきましては、IT産業の需要減の影響が続くなど予断が許さない状況が続いております。

この様な状況下、当社は、既存顧客への運用支援を行いながら、製品の品質・機能をさらに向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

しかしながら、当社が受注している案件は第3四半期以降に予算が執行されるものが多いため、当第2四半期では目に見える具体的な成果に繋がっておりません。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は183,592千円（前年同期比26.9%減）、営業損失は64,102千円（前年同期比96.6%増）、経常損失は64,063千円（前年同期比100.5%増）、四半期純損失は35,498千円（前年同期比62.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (イメージング&プリンタコントローラ事業)

当セグメントにおきましては、ソフトウェアの受託開発による売上は前期と大きく変わらずに推移しておりますが、製品ライセンスの受注が減少いたしました。また、先行投資として、Mistral IJ関係の研究開発に注力したため、研究開発費等が増額し、利益は減少しました。

その結果、売上高は73,453千円（前年同期比30.4%減）、損失は342千円（前年同期は37,875千円の利益）となりました。

#### (ストレージソリューション事業)

当セグメントにおきましては、Blu-ray/DVDメディアにデータをバックアップし、メディア盤面に自動印刷する装置（製品名：Bravoシリーズ）の販売等は増加しましたが、ソフトウェアの受託開発が減少したことで売上高は減少しました。また、複数枚のBlu-rayメディアを使用し、大容量・高速転送・長期保存性を備える光ディスクチェンジャ装置システムの研究開発費を計上したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は36,075千円（前年同期比7.7%減）、損失は4,393千円（前年同期は14,412千円の利益）となりました。

#### (セキュリティ事業)

当セグメントの情報セキュリティ事業におきましては、SPSEは大手金融機関、大手証券会社、その他大手企業を中心とした既存ユーザへのライセンス販売及び保守契約が堅調に推移しており、利益率が向上しました。今後も大規模ユーザに加え、中小規模のユーザへ営業活動を展開し、受注を獲得してまいります。

映像セキュリティ事業に関しましては、FIRE DIPPER は空港監視、道路監視、発電所監視並びに警察関連から数件受注し、納品に向けて注力しております。しかしながら大規模ユーザ案件のため、受注から売上までの期間が比較的長期化する傾向があり、今回の結果には結びつきませんでした。

その結果、売上高は64,959千円（前年同期比8.0%減）、損失は9,810千円（前年同期比59.7%減）となりました。

(その他)

その他の事業におきましては、受託開発案件の受注が減少し売上高は落ち込んでおりますが、利益率が高い案件が多く、利益は増加しました。

その結果、売上高は9,104千円（前年同期比74.6%減）、利益は4,005千円（前年同期比41.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状態

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産合計は667,211千円と前事業年度末に比べて186,122千円減少しました。減少した主な要因は、繰延税金資産が22,784千円増加しましたが、短期借入金の返済等により現金及び預金が100,558千円、債権の回収により受取手形及び売掛金が128,958千円減少したこと等によるものです。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産合計は310,510千円と前事業年度末に比べて6,736千円増加しました。増加した主な要因は、減価償却により有形固定資産が1,512千円、無形固定資産が811千円減少しましたが、保険積立金が9,431千円増加したこと等によるものです。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債合計は67,757千円と前事業年度末に比べて133,850千円減少しました。減少した主な要因は、借入金の返済により短期借入金が100,000千円、債務の支払いにより買掛金が16,558千円、未払法人税等が11,317千円減少したこと等によるものです。

#### (固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債合計は81,995千円と前事業年度末に比べて3,748千円増加しました。増加した主な要因は、役員退職慰労引当金が3,677千円増加したこと等によるものです。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は827,968千円と前事業年度末に比べて49,284千円減少しました。減少した主な要因は、配当金の支払いや四半期純損失の計上等により利益剰余金が43,475千円減少したこと等によるものです。

### ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末に比べ175,594千円減少し、405,488千円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果獲得した資金は17,216千円となりました。主な要因は、売上債権の減少額128,958千円の増加がありましたが、税引前四半期純損失58,138千円、仕入債務の減少額16,558千円、法人税等の支払いによる支出9,792千円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は109,821千円となりました。主要

因は、定期預金預入による支出100,000千円、保険積立金積立による支出9,431千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は107,953千円となりました。これは、短期借入金の返済による支出100,000千円、配当金の支払いによる支出7,953千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が受注している案件は、第3四半期以降の予算執行が多く、当第2四半期累計期間の業績は、遺憾ながら赤字となり、当初の予定を若干下回る結果となっております。

イメージング&プリンタコントローラ事業においては、前期より継続的に開発していた大型インクジェットプリンタ制御装置の後継機種のための開発案件を既に受注しております。

ストレージソリューション事業においては、Blu-rayメディアを用いた大容量光ディスクチェンジャ装置システムのひと通りの開発が終了いたしました。本システムは、開発段階より国内外から引き合いを受けており、今後はより数多くの案件を確実に受注に結びつけるべく営業活動を行ってまいります。

セキュリティ事業のSPSEにおいては、過去に導入していただいたユーザに対するサポートを堅調に行いつつ、中規模ユーザへの売上を拡大すべく営業活動を行ってまいります。

FIRE DIPPER においては、発電所、空港、官公庁といった大規模ユーザ向けの案件を既に数件受注しております。納品は、第3四半期以降となるため、今後は一層の売上拡大を見込んでおります。

それらの結果、通期の業務につきましては、現時点で変更はありません。

なお、業務予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,046	505,488
受取手形及び売掛金	209,298	80,339
商品及び製品	13,635	16,012
仕掛品	10,157	19,922
前払費用	10,895	11,484
繰延税金資産	2,454	25,239
その他	1,115	8,822
貸倒引当金	△270	△100
流動資産合計	853,333	667,211
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,669	12,199
減価償却累計額	△7,722	△8,375
建物（純額）	3,946	3,823
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△7,101	△7,713
車両運搬具（純額）	2,937	2,325
工具、器具及び備品	36,266	36,456
減価償却累計額	△32,215	△33,183
工具、器具及び備品（純額）	4,051	3,273
有形固定資産合計	10,935	9,422
無形固定資産		
特許権	858	771
商標権	703	636
ソフトウェア	5,803	5,146
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	8,935	8,123
投資その他の資産		
投資有価証券	842	1,029
関係会社株式	21,000	21,000
出資金	10	10
長期貸付金	3,000	2,441
差入保証金	40,489	40,489
保険積立金	214,262	223,693
その他	6,000	6,000
貸倒引当金	△1,700	△1,700
投資その他の資産合計	283,903	292,964
固定資産合計	303,774	310,510
資産合計	1,157,107	977,721

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	35,272	18,713
短期借入金	100,000	—
未払金	1,530	1,098
未払費用	15,014	13,095
未払法人税等	12,302	984
前受金	32,263	31,212
預り金	4,935	2,340
その他	289	312
流動負債合計	201,608	67,757
固定負債		
繰延税金負債	220	292
役員退職慰労引当金	78,026	81,703
固定負債合計	78,246	81,995
負債合計	279,855	149,753
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	110,338	66,863
自己株式	△36,271	△36,271
株主資本合計	870,967	827,491
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360	476
評価・換算差額等合計	360	476
新株予約権	5,924	—
純資産合計	877,252	827,968
負債純資産合計	1,157,107	977,721

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	251,096	183,592
売上原価	130,310	107,884
売上総利益	120,786	75,707
販売費及び一般管理費	153,481	139,810
営業損失(△)	△32,694	△64,102
営業外収益		
受取利息	207	128
保険事務手数料	434	414
その他	115	51
営業外収益合計	756	594
営業外費用		
支払利息	—	493
為替差損	20	61
その他	—	0
営業外費用合計	20	555
経常損失(△)	△31,958	△64,063
特別利益		
新株予約権戻入益	503	5,924
特別利益合計	503	5,924
税引前四半期純損失(△)	△31,455	△58,138
法人税、住民税及び事業税	145	145
法人税等調整額	△9,779	△22,784
法人税等合計	△9,634	△22,639
四半期純損失(△)	△21,820	△35,498

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△31,455	△58,138
減価償却費	5,666	3,272
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,170	3,677
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△240	△170
受取利息	△207	△128
支払利息	—	493
売上債権の増減額 (△は増加)	189,584	128,958
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,770	△12,143
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100,606	△16,558
前受金の増減額 (△は減少)	20,605	△1,051
未払金の増減額 (△は減少)	△15,041	△431
新株予約権戻入益	△503	△5,924
その他	7,487	△14,907
小計	58,691	26,945
利息及び配当金の受取額	56	63
法人税等の支払額	△46,287	△9,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,460	17,216
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	—	△719
無形固定資産の取得による支出	△147	△228
保険積立金の積立による支出	△9,894	△9,431
敷金及び保証金の回収による収入	4,977	—
貸付金の回収による収入	—	558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,064	△109,821
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△8,023	△7,953
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,023	△107,953
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△693	△200,558
現金及び現金同等物の期首残高	581,775	606,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	581,082	405,488

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	105,508	39,083	70,641	215,232	35,864	251,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	105,508	39,083	70,641	215,232	35,864	251,096
セグメント利益又は損失(△)	37,875	14,412	△24,359	27,928	2,826	30,754

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	27,928
「その他」区分の利益	2,826
全社費用(注)	△63,449
四半期損益計算書の営業損失(△)	△32,694

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	73,453	36,075	64,959	174,488	9,104	183,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	73,453	36,075	64,959	174,488	9,104	183,592
セグメント利益又は損失(△)	△342	△4,393	△9,810	△14,545	4,005	△10,540

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△14,545
「その他」区分の利益	4,005
全社費用(注)	△53,562
四半期損益計算書の営業損失(△)	△64,102

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ①受注状況

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	49,037	△63.3	16,783	△90.1
ストレージソリューション事業	40,701	51.2	14,742	△49.4
セキュリティ事業	89,898	51.4	45,123	△27.2
その他	62,528	626.0	53,424	1,269.9
合計	242,165	6.1	130,072	△50.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ②販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	73,453	△30.4
ストレージソリューション事業	36,075	△7.7
セキュリティ事業	64,959	△8.0
その他	9,104	△74.6
合計	183,592	△26.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (2) 研究開発の状況

当第2四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、45,942千円（前年同期比54.5%増）となりました。その内容は主に、産業用インクジェットプリンタ制御装置の開発、大容量光ディスクチェンジャ装置システム開発及びWisePatrol機能拡充等に関する研究開発活動であります。